

令和5年度 政務活動報告書（1）

会派又は議員名 清流

政務活動期間	令和5年9月8日～9月10日（3日間）
政務活動先	宮城県大崎市
政務活動参加者	稲村 勝俊、山崎 公司、古谷 陽一、西村 良伸、海野 学 （5名）
政務活動項目	○庁舎、図書館、道の駅、ホテルの里視察 ○姉妹都市交流
政務活動項目に係る （目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

令和 5 年 9 月 18 日

当別町議会議長 高谷茂 様

当別町議会 会派 清流

令和 5 年 会派清流大崎市政務調査研修報告書

令和 5 年 9 月 8 日～10 日まで、宮城県大崎市において、次の通り政務調査研修を行ったので報告する。

- 1 日程 令和 5 年 9 月 8 日（金）～10 日（日）
 - 8 日 9 時 50 分 新千歳発→10 時 55 分 仙台着 IBEX 46 便
14 時 00 分 大崎市議会議長表敬訪問
14 時 30 分 行政視察
15 時 30 分 庁舎見学
17 時 30 分 議員懇親会
 - 9 日 10 時 00 分 南原ホテルの里見学
12 時 00 分 あ・ら伊達な道の駅視察
14 時 00 分 政宗公まつり祈念式典
15 時 00 分 中鉢美術館見学
16 時 00 分 姉妹都市交流会
18 時 00 分 宵祭り観覧
19 時 30 分 議員懇親会
 - 10 日 9 時 00 分 大崎市図書館視察
9 時 50 分 道の駅おおさき視察
13 時 00 分 おまつり小路観覧
14 時 00 分 伊達武者行列観覧
16 時 35 分 仙台発→17 時 50 分 新千歳着 AIRDO 107 便

- 2 参加者 当別町議会議員（会派清流）5 名
稲村勝俊 古谷陽一 山崎公司 西村良伸 海野学

- 3 研修・視察内容

8 日

○大崎市役所 視察

案内・説明者 議会事務局 川名主幹

・人口は令和 5 年 4 月 1 日現在 123,941 人

平成 18 年 3 月 31 日に 1 市 6 町が合併し大崎市となる。

- ・庁舎は合併市町村補助金を利用して今年 5 月 8 日に新庁舎開庁。総工費 80 億円
財源 起債（合併特例債）＋災害復興支援金 68 億円、一般財源 12 億円
- ・新庁舎建設までに 43 回に亘るミーティング・検討をしてきた。

- ・機能

市民誰もが利用しやすい庁舎
市民サービス向上が図れる効率的な庁舎
防災拠点として市民の安全・安心を確保した庁舎
まちに調和し市民が誇りを持てる庁舎
環境に配慮した庁舎
ライフサイクルコストを抑えた庁舎

- ・ 1 階フロア、来庁者（7 割）の手続きがし易いように L 字型窓口になっている。
その他、地域の交流の場所としてカフェ・キッズルーム・屋内広場（パタ崎さん家）
総合案内や電子掲示板、観光・情報センター、地域産業 PR コーナーも設けている。
- ・ 2 階フロア、納税課・税務課・社会福祉事務所等、市民ロビーや市民協働室がある。
- ・ 3 階フロア、会議室
- ・ 4 階フロア、災害対策本部室、応接室

○大崎市議会 視察

- ・議員定数 28 人
- ・ 5 階フロア、議場、車いす議席あり、議員控室、傍聴席横には授乳室を設けている
議場内に数か所高画質モニター設置
- ・議員数 28 名のうち 24 名程が毎回一般質問をするため、会期中 4 日間（午前午後）を要している。

9 日

○南原ホテルの里 見学

案内・説明者 上野様

- ・南原ホテルの里設立経過：上流部にある岩堂沢ダム工事で生じた多量の残土が、農地整備で南原の水田に搬入。500m 間隔にあったため池にホテルを移動させながら守った。
- ・大崎耕土（世界農業遺産）歴史的に水管理システムを構築し現代まで伝えてきた。
- ・ささ結：ササニシキとひとめぼれの交配によって生まれた。（環境保全米）

○あ・ら伊達な道の駅 視察

案内・説明者 佐々木社長

- ・運営状況
2021 年 全国道の駅グランプリで満足度 1 位を獲得

令和4年度：売上17.8億円
農産物直売を良く利用する人が一番多い。二番にロイズ
機能：防災拠点として隣にコミュニティセンターやトイレがある。
各種イベントの企画・定期開催

10日

○大崎市図書館

案内・説明者 菅原副館長

・平成29年7月20日開館

総額42.5億円（うち建物建設費35.1億円）

財源内訳 社会資本整備総合交付金 補助額 10.8億円

合併特例債 28億円

一般財源 3.7億円

・コンセプト

まちづくりを支える図書館

市民に役立ち、ともに歩む図書館

知識と情報の拠点にふさわしい図書館

1階フロア 総合案内・ラウンジ・カフェ・セルフ貸出機・児童コーナー・ワークスペース・多目的ホールなど

2階フロア ワークスペース・学習室・研修室など

○道の駅おおさき

案内・説明者 議会事務局 川名主幹

・世界農業遺産をテーマに大崎耕土で採れた野菜の直販・お土産や加工品を販売している。その他、情報発信施設・飲食施設がある。屋外広場は交流スペース。

・市役所庁舎と消防署の間にあり災害時の拠点。駐車場も広くベンチは災害時にはコンロにもなる。汚水槽が直接トイレにもなり災害広場として機能する。

4 今後の取組

・当別町では、まず新庁舎の建設について移転先も決まっていない状況ではありますが建設費も多額になることからまずは財源先をしっかりと検討しなければいけないと感じました。

・道の駅については当別町も営業利益をあげられるように、利用するお客様の視点、SNSの有効活用、トイレ・店舗・駐車場・接続道路の清掃や管理をしっかりと感じました。

また当別町でも機能的に地域振興や災害時の機能を強化しなければと思います。

伺った2か所共に産直野菜のスペースが広くありました。

- ・ホテルの里では農業と自然環境が密接に関係し、その象徴がホテルの生息に繋がっていると感じました。今後も大崎市とホテル交流を継続し、大崎市のホテルが当別町民も身近で観られるように会派で頑張っていきたいです。
- ・図書館について近い将来に当別町にも駅前ホテルの1・2階に出来る予定がありますが、大崎市でも行っていたようにヒアリングやミーティングを通し、町民が利用しやすいように工夫し、憩いの場や情報の発信場所になれば願っています。
- ・その他、政宗公まつりを見学させていただき、岩出山と当別町の繋がりや歴史を学ぶことが出来ました。大崎市の皆様にはとても暖かく迎えていただき、近隣の市町村方とは全く異なる対応でした。これからの当別町を考えた時にとっても力になっていただける姉妹都市と感じました。今後もこの関係が継続・発展するように努めて参ります。

以上

令和5年度 政務活動報告書（2）

会派又は議員名 清流

政務活動期間	令和6年3月21日～3月22日（2日間）
政務活動先	新ひだか町、北海道静内農業高校
政務活動参加者	山田 明、稲村 勝俊、古谷 陽一、山崎 公司、西村 良伸、 海野 学 （6名）
政務活動項目	○新ひだか町と北海道静内農業高等学校との連携した特産品 開発について ○新ひだか町議会における広報・広聴について
政務活動項目に係る （目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

令和6年3月25日

政務活動 研修視察 報告書

会派 清流

研修期間： 令和6年3月21日～令和6年3月22日 2日間

研修参加者：山田 明 稲村 勝俊 古谷 陽一 山崎 公司
西村 良伸 海野 学

研修先： 新ひだか町役場 北海道静内農業高校

視察目的： 少子化に伴い道内の各地で学校の統廃合が議論される中、地元住民が学校運営に参加し、地域ぐるみで特色ある教育活動に取り組む動きが広がっている。
日高管内新ひだか町では、総合戦略の中で掲げる特産品開発の一部を静内農業高校の生徒が担っている。町は22年度交付金を活用し、同学校と連携した『静農ブランド』の開発促進事業に2年間で2千万円を計上、商品化の企画や調査、商談会、物産展での販売など生徒が事業者と一緒に取り組んでいる。このような事業を行政がどのように取り組み、高校がどのように活動しているか実態を知りたい。そして、町内での取り組みが出来ないだろうか。

視察行程： 別紙 行程表参照

視察内容：

- 1 先ず、新ひだか町役場に到着、事務局長の出迎えて町長・副町長に挨拶15分程、視察を受けて頂いたお礼の挨拶をする。
新ひだか町は、平成18年3月31日にそれまでの『静内町』と『三石町』が合併して新たに誕生した町です。
先方から当別町の北海道医療大学の移転の話になり「大変ですね頭が痛く成るでしょう」と心配され、頑張ってくださいと励ましの言葉があった。
- 2 次に、議長から昨年10月に総務文教常任委員会が当別に行き、一貫校を視察したお礼の言葉があった。その後、かぼと製麺で食事、ロイズチョコレートタウンを見学したそうです。
議会事務局長から本日の研修の2項目について、説明部局の紹介を受けた。
- 3 北海道静内農業高等学校と連携した特産品開発については、総務部まちづくり推進課課長から説明を受けた。
新ひだか町は、合併時、人口は2万4千人現在2万人に減少、子供の出生者は、200名から100名に減少、さらに町内に道立高校が2校ありなんとか維持する為に、町内に豊富な農産物や海産物といった素材がありながら、『これぞわが町の名物』といえる特産品がない。
このことから、静内農業高校の生徒の皆さんや地元農業団体等と連携して全

国に誇る特産品の開発し、地元商店や飲食店での販売、地域産業を支える次世代の人材育成を推進する。

事業実施にあたり、令和4年、農林水産省から交付金1,000万円を活用、2学年・3学年により、特産品開発のスケジュールにより令和4年度4品目、令和5年度特産品開発実績5品目となった。

令和4年度開発商品を令和5年7月ロイトン札幌で展示商談会、令和5年9月大阪の近鉄デパートで秋の北海道物産展で販売の実績がある。

4 2項目の議会における広報・広聴について説明があった。

議会広報は、町民・公共施設・コンビニ等に設置。姉妹都市・友好都市・管内議会への郵送（40カ所）。札幌三石会会員への郵送。

広聴（議会報告会等）は、コロナの為中止（令和3年4年）以外は毎年静内・三石の2カ所で実施している。毎回40人から50人、この2年は25人かあら30人の参加がある。

議会報告会の他に、町民との懇談テーマを決めて実施している。

5 静内農業高校を訪問、午前中が終業式であった。桜で有名な20間道路近くであり、とにかく、学校の敷地が広い。校長・教頭・マイスター・ハイスクールCEO 副校長が同席、教頭先生から学校の状況の説明を受ける。食品科学科3学年で61名、生産科学科99名、道外からは39名おり、ほとんどが馬に関心のある生徒です。

広い校内を案内され、食品加工の部屋も多く、近くには馬小屋もあります。校内で、令和5年度第3回目の静農ブランド開発促進プロジェクト会議が行われており、観光協会・商工会・農協・生産メーカー・新ひだか町職員3名・農業高校数名約30名が活発な意見交換をされていた。

6 道の駅3カ所を視察した。道の駅サラブレッド新冠、隣にレコード館があり、休館日であったが、100万枚のレコードが保管されているが懐かしいレコードがロビーで見ることが出来た。

道の駅みつし、最後に道の駅むかわ四季の館に寄ったが、駐車場は満車状態であった。地元商品が多く、皆買い求めた。

7 視察先の対応に深く感謝し、今後の参考にしていきたいと思います。

有意義な研修視察でありました。

以上

当別町議会 会派清流 行政視察行程表

- 1 日 時 令和6年3月21日(木)～22日(金)
- 2 視察先 新ひだか町・北海道静内農業高等学校
- 3 行 程

21日 (木)	9:30 当別町役場 出発 12:00 昼食 13:20 新ひだか町役場 到着 13:30 視 察 研 修 開 始 ・北海道静内農業高等学校と連携した特産品開発について ・新ひだか町議会における広報・広聴について 15:00 視 察 研 修 終 了 15:30 道の駅 サラブレッドロード新冠 視察 16:30 静内エクリプスホテル 到着
22日 (金)	10:00 静内エクリプスホテル 出発 10:45 道の駅 みついし 視察 12:00 昼食 12:50 北海道静内農業高等学校 到着 13:00 視 察 研 修 開 始 ・新ひだか町と連携した特産品開発について 14:00 視 察 研 修 終 了 15:30 道の駅 むかわ四季の館 視察 17:30 当別町役場 到着